

記載がある。HPは、まさに飛鳥地域、中南和地域への、ポータルサイトであるべきと考えるが、市長の広報活動に対する考えは。

答 今回のパブリックビューイング、凱旋パレード、その前に行なわれた飛鳥デザインウィークを通じ、動画をうまく使わなければと特に感じた。本市は、発信できる良いものを持つている。今回のことをいい経験に、あるものをしつかりと、わかりやすい方法で広報、発信していきたい。また、問題になっていた広報誌も、非常勤だが、1人の専門家を導入した。今後は、よりわかりやすく、理解しやすい広報誌に成長していきたい。

一般質問 亀甲 義明 (公明党)

行政書類のペーパーレス化

問 用紙の使用量、費用、書類の保管スペース。年間の廃棄量、費用、印刷、資料作成などのランニングコストは。

答 用品調達基金の27年度に払い出した枚数で、A4で年間約760万枚、B5、B4、A3は約820万枚で約500万円。これ以外に、担当課が独自に購入しており、全て把握していないが、おそらく1000万枚は超えている。文書は、取扱規程に則り、現年度及び前年度分は各課で保管し、以前の文書は、本庁南館書庫71、4平米、万葉ホール書庫123、4平米、香久山の書庫330平米に保管している。廃棄量は、27年度1249tで大857箱、小93箱。廃棄は業務委託し、27年度で13万4,892円。印刷、資料作成のランニングコストは、白黒で1枚当たり1.45円(税抜)、カラーで7.2円(税抜)全てを白黒なら約1,286万円(税込)、カラーなら約6,386万円(税込)になる。フォルダーは約1万9,000枚で45万1,440円(税込)。保存箱、大1,600箱、小250箱で、29万7,810円(税込)となる。

問 これまでにペーパーレス化に向けて検討したことは。

答 13年からペーパーレスも念頭に置いて電子決裁の研究

をしたが、全ての文書が電子化されないと意味がなく見送った経緯がある。

問 ペーパーレスは環境面や業務の改善、効率化の面からも見直しが必要では。

答 ペーパーレスは環境面では、森林保全に役立ち、会議資料等の削減は、印刷、製本作業等、印刷ミスもなくなり業務の効率化が進む。文書の電子化を推進し、ペーパーレス化に向け、業務の効率化を図っていきたい。

問 タブレットを会議で利用している自治体もあり、タブレット導入が現実的になってきているが、本市の考えは。

答 導入には、WiFi環境の整備、セキュリティ対策が必要。ペーパーレス化は紙等の削減に繋がり検討の余地がある。今後、導入後の効果の情報を収集し検討したい。

問 ペーパーレス会議を部課長以上や、逆に若い職員などで行えないか。

答 4月から契約制度審査会で全席にパソコンを設置し、ペーパーレス化を図った会議をし、防災の関係で図上訓練も機械を使って行っている。

待機児童対策

問 本市の待機児童数、現在対応中のことや今後の対策は。

答 4月の待機児童数は45名いたが、随時入所決定をし、9月1日現在では28名である。第4こども園の内部改修を行い、来年4月に50人程の受入れ拡大。私立保育園も、2年で改修、整備し、15人程の定員増を予定している。

問 本市の潜在的な待機児童数、国が定める待機に入らない項目があるがそれはなにか。

答 国の待機児童の定義は、入所申込が提出され、要件に該当するが、入所していないもので、潜在的な待機児童は、入所可能な所はあるが、特定の保育所を希望されている場合。現在入所中だが、第1希望でない等の理由で転園を希望している場合。育児休業中で保育を希望される場合。保護者が求職活動を休止している場合がある。潜在的な待機児童は待機児童に入れないため答えるのは難しいが、状況聴き取りの中から抽出すると、110名程と見込んでいます。



第4子ども園

問 特定の保育所を希望している方はどれだけのいるのか。

答 抽出した潜在的待機児童の約110名の大半は、特定の保育所を希望しているか、入所可能な所を案内したが、断られ入所しない方である。

問 保護者が育児休業中の方にはどんな対応をしているか。

答 1年通して取得される場合は、家庭での保育に理解を求め、事情等で家庭で保育ができない時は、引き続き保育所といった対応をしている。

問 育児休業終了後、必ず入所できるのか。

答 育児休業を1年間取得し、入所希望する場合は、保育の必要度が高いと判断している。ただ、年度途中の仕事復帰や育休を短縮し仕事復帰する場